

6月	豊川 愛護モニター報告	モニター区間	豊川：左右岸 0.0km~6.2km
			管轄出張所：豊川出張所
実施日	令和2年6月6日、7日、21日	実施区間	河口、右岸2.8km、新幹線橋下



↑ 6月6日 前芝干潟はこの日も潮干狩りで賑やか

↑ 6月21日 左岸5.6kmから吉田大橋方面を見る



16時39分



6月7日 右岸2.8km

17時04分



満ち始めるとどんどん水深が深くなってくる。カニ穴に水が流れ込むのを合図にカニが穴から出てくる様子が見られた。川の水は浮遊物が沢山あり、きれいには見えない。手を入れると思った以上にぬるかった。



ヤゴ 背側



ヤゴ 腹側

新幹線の橋脚下辺りも豊川有数の潮干狩りスポット。ここでは初めて、豊川の潮干狩りは2回目。干潮になるまで飽きる事なく掘り続けたので沢山採れた。(約400g)家で薄い塩水に入れるとリラックスした様子のシジミ。泥の匂いが心配だったが、美味しくいただいた。掘ってる途中には、ヤゴを発見。触るのに躊躇してそばにあった棒でひっくり返すと全然動かないので、写真を撮っていたらすぐ近くに魚が泳いでいる。そちらに目移りしてる間に、川にお帰りになった。泥だらけで目立たないけど、羽になる部分が見られた。ムカシトンボのヤゴだったら良いなと思ったけどネットを見ても特定するのは難しかった。小魚は、本に『河口域で群れる』と書かれていたのでボラの幼魚のよう。シジミもボラもきれいじゃない水域でも生息できるとネットで改めて見て複雑な思いになる。今年度は、新型コロナウイルスの緊急事態に脅かされた記憶が、多くの人に残ることになると予測出来るが日本各地で起こった川の氾濫もしっかり心に留めておきたい。豊川が安全で美しい川であり続けますように。御清覧ありがとうございました。